

(地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

(認知症対応型通所介護) デイサービスセンターさくらさく

令和6年度 第2回運営推進会議 議事録

日 時：令和 6 年 6 月 20 日 (木)

時 間：10:00~11:00

開催場所：櫻ホーム西神 4 F 多目的室

出席者：別紙参照

1 自己紹介・あいさつ

(1) 出席者と参加者の自己紹介

(2) 施設長挨拶：本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。天候も落ち着かず、先日は大雨になりましたが、これからの時期ゲリラ豪雨など災害の危険があります。災害に強い施設、地域になっていくように対策したいと考えており、当施設では地域の防災士を招いて防災訓練など行っています。

また、ご入居者の健康管理の充実を図りたいと考えており、その件について後ほどご説明させていただきます。

この度、眞杉事務局長が今月末で退職になります。本日は欠席となっており、直接ご挨拶できず申し訳ありませんが、皆様にはお世話になりました。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2 事業運営に係るご報告

以下、別紙（令和6年第2回運営推進会議櫻ホーム西神）をもとに説明を行った。

(1) (地域密着型) 特別養護老人ホーム櫻ホーム西神

① 稼働率 (P4)

資料に沿って現状の説明を行う。

目標 98% に対し、6/13 時点での稼働率はユニット型:96.67%、地域密着型:99.83%、合算:97.30%、ショート合算:98.17%となっている。空床ショートステイの利用率は、5月は空床 57 日に対し 50 日利用で 87.72%、6月は空床 80 日に対し 26 日利用で 32.50%となっている。

② ご入居者の概要 (P5・6)

資料に沿って説明を行う。

6/13 時点 ユニット 80 名 (神戸市、次いで三木市の方が多い)・地域密着 20 名 (神戸市のみ) 要介護度はユニット平均 3.79、多床室 3.63 でいずれも 4 の方が多い。

③ 入院者の概要 (P7)

資料に沿って説明を行う。

5月の新規入院はなし(4月からの継続入院が2名)。6月は3名の方が入院している。入院理由については、胃ろう造設、大腿骨骨折、肺炎となっている。環境を整備することで転倒・転落を防いでいきたい。また、診療所医師を中心に多職種で早期発見に努め病状の悪化を防ぐことで、入院者を減らしていきたい。

④ 入居申し込み状況 (P8)

資料に沿って説明を行う。

ユニット13名(男性7名 女性6名)、多床室5名(男性4名 女性1名)となっている。平均介護度は3.4で、平均年齢は79.2歳となっている。(病院・老健・サ高住で待機されている。)

⑤ 職員の動向 (P9)

資料に沿って説明を行う。

4月退職者：正規職員 1名(介護)、4月入職者：正規職員 4名(介護2、管理栄養士2)

5月退職者：正規職員 1名(管理栄養士) パート職員1名(厨房)

6月入職者：パート 1名(送迎ドライバー)

6月退職者について、事務局長は本部所属のため表には記載されていない。

※4月に管理栄養士が2名入職し、3名体制になっている。

⑥ 施設内でのインフルエンザ感染経緯 (P10~12)

資料に沿って説明を行う。

(P10) 4/17 バラユニットで1名・アジサイユニットで1名の感染者、4/18 バラユニットで1名の感染者があり合計3名が感染される。17日~23日まで隔離対応、面会は中止とし、24日9:00に解除する。

(P11) バラユニット1名についての経緯を説明。4/15 37.3°Cの発熱、咳込みあり、医師の診察にて経過観察の指示。翌日、38.9°Cまで上がり、17日インフルエンザ・コロナの抗原検査実施し、インフルエンザA型陽性が確認される。

(P12) アジサイユニット1名についての経緯を説明。4/16 38.3°Cの発熱、咳症状あり。コロナPCR検査実施し陰性。翌日、インフルエンザ・コロナ抗原検査にてインフルエンザA型陽性が確認される。バラユニット1名について、4/15~18 微熱が続く。18日、インフルエンザ・コロナ抗原検査にてインフルエンザA型陽性が確認される。

⑦ ご入居者健康管理の充実について (P13)

ご家族より、定期的な検査や健康管理を併設診療所ですてほしいという要望があり、主に採血・検尿・心電図の検査を実施し健康管理を充実させていく。

⑧ 監事監査 (P14)

5/25 桜谷荘で監事監査実施。各部門担当者より、令和5年度下半期事業計画に対しての実績を報告する。

⑨ 事故・苦情の発生状況と詳細 (P15~17)

資料に沿って説明を行う。

(P15) 4月 誤薬・与薬もれの事故が10件あった。

(P16) 5月 転倒7件・転落6件あった。

(P17) 課題：4月は職員のユニット間での異動があり、ケアの統一ができていなかった。薬の飲み方や、口の中にためこんでしまうなどその方の状況を把握することが大事。来年も職員異動の時期には同じような事故が起こると予測されるため、事前に注意喚起していく。転倒・転落につい

て、居室の環境や心身状況を把握し、統一されたケアを実施する。

⑩ イベントと活動内容報告（P18～20）

（P18）ハス・ヒマワリ：食事レクで焼き肉を行った。日頃よりたくさん召し上がられ喜んでいただけました。

（P19）サクラ：外出レクで5月誕生日の方を中心に神戸ワイナリーの散策と喫茶でお茶や軽食を楽しんでいただけました。

（P20）8月は夏祭りを大規模に開催する予定。特養・ショート・デイ 110名、職員50名、家族、学生ボランティア、地域のボランティアの参加を募り、合わせて250名程度参加と予測している。安全・感染対策を検討する。地域の方にはゲームの屋台をお手伝いいただきたいと考えているが、詳細については担当者に直接問い合わせていただきたい。

3 研修・委員会活動

（P21）実施報告：5/22 排せつ支援研修（王子ネピア）オムツの当て方や陰部洗浄の方法など実技研修を行う。

今後の予定：6/21 食中毒研修

9月 高齢者虐待・身体拘束防止研修

4 その他

（P22）介護保険外のサービスについて。月2回の訪問理美容、まほろばパンの移動販売が毎週金曜日にある。

（2）デイサービスセンターさくらさく（P23～30）

資料に沿って、以下の内容を報告する。

① 利用状況について（P24）

登録者数は28名（男性10名、女性18名）、平均介護度は1.7、平均年齢は82歳となっている。

② ご利用者概要について（P25）

表を用いて地区別、回数別、要介護度別の利用状況を説明する。地区では押部谷に次いで美穂が丘と近隣が多いが、美賀多台・学園東など遠方からの利用もある。回数は週2回利用の方が多い。要介護度は1の方が半数近くとなっている。

③ 稼働率について（P26）

今年度の目標75%に対し4月は79.5%、5月は82.1%と達成している。

④ 事故の発生・苦情状況と詳細について（P27）

5月 異食事故が1件あった。消しゴムを口に入れていたところを発見した。自由に動かれる方なので見守りだけの対応では難しいため、他利用者には不便をかけるが消しゴムをテーブルに置かないようにし対策している。ヒヤリハットは1件あり、他利用者の残っている食事を食べようとされているところを発見した。

6月 指詰め事故があった。詳細について別紙写真にて説明する。玄関内側の自動扉が閉まっている状態の時に、利用者が扉に手をかけて支えにしていたところ、他利用者に対しセンサーが反

応し扉が開いてしまったために指を巻き込んでしまうという事故が起きた。指を裂傷し出血あったため看護師を呼び応急処置し、直ちに病院受診した。骨折なく、縫合の必要もなかった。再発防止のため、デイの送迎時には自動扉のスイッチを切る。扉の隙間を埋めて指が入らないようにする。送迎時は事務所職員も誘導に協力し、対策としている。

⑤ イベントと活動内容報告 (P28)

お好み焼き作りを行った。トッピングを自由にしてもらい、片付けや洗い物もしていただいた。テラスの散歩、将棋やゲーム、歩行訓練の様子など日頃の様子も写真で紹介する。

⑥ 認知症カフェの開催・地域活動について (P29)

4/19・5/17 ミニ講座を開催した。脳体力トレーナー（ソフト）コグエボを使用していただいた。次回は6/28 介護相談メインに開催予定。

4 その他（質疑応答）

(1) A 委員：資料 P14 監事監査について、どこが行っているのか。また、「目標稼働率未達の原因と対策について」とあるが、その内容も資料にあげてほしい。

【回答】法人をチェックしている監事が主に運営・収支の状況をチェックし、理事会に報告している。決算を評議員会で報告後、7月にホームページに掲載する予定。コロナ禍、物価高騰などで全国的に特養の運営が苦戦している中で、当施設は黒字となっている。稼働率が売り上げに関係するので、目標達成に向けて事業運営を行っている。入院が稼働率を下げる主な原因になるので、空床ショートステイの利用を進めていき周知活動に取り組んでいきたい。また、診療所医師による定期的な検査を実施することで、異常の早期発見、受診を行い、医療と連携することにより長期の入院を減らしていきたい。

A 委員：こういう話が聞きたかった。丁寧な説明でよくわかった。

【回答】ありがとうございます。

(2) B 委員：赤字か黒字かと言うより、入居者が満足して暮らしているかというところを見ていきたい。

【回答】グリコピア見学にご家族も一緒に参加され楽しまれた。夏祭りもご家族に参加していただき一緒に楽しんでいただけよう企画している。コロナ禍で今までご入居者もご家族も寂しい思いをされていたので、今後は積極的に外出もしていきたい。

B 委員：怪我のないよう、体調を悪くしないよう気を配っていただいて、体の機能を衰えさせないようにしていただきたい。健康診断も定期的に行っていくとのこととてもいいと思う。

資料 P11 イレウスとは？病状の説明がわからない。

【回答】イレウスとは腸閉塞のこと。診察し腸の音を聞いたが動いていたので腸閉塞の可能性は低いとの診断で、様子観察となったとの経緯を説明している。

B 委員：やはり年がいくと腸閉塞のリスクが高くなるのか。

【回答】高齢になると腸の働きが低下し腸閉塞のリスクも高くなる。

B 委員：そのような点も診てくれているとのこと、安心できる。

【回答】ありがとうございます。

(3) B 委員：夏祭りの参加者は250名を予定しているとのことだが、メインの会場はどうするのか。安

全対策はできているのか。

【回答】テラスにテントを張って屋台を作る。ゲームは玄関前の駐車スペースを利用する。ユニットは休憩や食事の場所とする。ボランティアのダンスは2回に分けて行い、混雑を防ぐようにする。以上のように考えている。

B 委員：テラスにテントを張ると、突風に飛ばされる恐れがあるので十分に注意してほしい。

【回答】わかりました。

(4) C 委員：施設での人員確保が難しいと聞くが、給料以外で解決策はないか。

【回答】介護・看護ともに人員確保は難しい。外国人の雇用も積極的に行っている。岡山の専門学校で2年間しっかり教育を受けたベトナム人留学生を4名採用している。来年度も1名採用予定となっている。日本人の応募はあまりないので、紹介料はかかるが紹介会社を利用している。人員基準は満たしているが、サービスを充実させていきたいので積極的に採用していく。厨房のパート職員も募集しているので、地域の方のお力添えをいただきたい。

(5) D 委員：あんしんすこやかセンターより、シニアポイントについての説明会を福祉センターで行う予定。入居者のお話し相手、配膳や片付けなどのボランティアになるが、採用を検討されているか。

【回答】ボランティアに来ていただけたらありがたい。

D 委員：ホームページから登録できるので、名乗りをあげていただければ。

【回答】ぜひ、登録させていただきたい。

D 委員：ボランティアの話を老人会で進めていきたい。引きこもりにならないよう、外に出て色々な人との交流を広めていくきっかけを作りたい。

E 委員：6月24日に民生員の見学があるのでお願いします。

【回答】準備してお待ちしています。

D 委員：あんしんすこやかセンターで、認知症の方の社会資源を調査している。認知症の相談窓口として資料に載せてもいいか。

【回答】ぜひお願いしたい。

次回開催予定：令和 6年 8月 15日（木） 10:00～11:00

出席者

(第三者委員)

小川 薫	月が丘自治会 会長
世良 英雄	押部谷東ふれあいのまちづくりの協議会 顧問
福永 君江	押部谷西民生委員児童委員協議会 会長
納見 年子	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 委員長
高橋 侑子	おしべあんしんすこやかセンター

(櫻ホーム西神、デイサービスセンターさくらさく)

馬場 宏知	施設長
内田 創一郎	デイサービスセンターさくらさく管理者
長田 知花	生活相談員
大野 智子	生活相談員
近藤 賀子	介護主任
松崎 淳子	施設介護支援専門員